

株主の皆さまには、平素より  
格別のご高配を賜り、  
厚く御礼申しあげます。  
ここに、第83期  
株主通信 2020年夏号を  
お届けいたします。



2019年度の当社グループの業績は、売上高6,780億円(前期比7.5%減)、営業利益548億円(同18.6%減)、営業利益率は8.1%となりました。期初からの米中貿易摩擦による事業環境の悪化に加え、第4四半期に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減収減益となりました。売上高が減少する中でも、売上高に占める粗利額の割合を示す売上総利益率は、過去最高の44.8%を達成しました。これは、お客さまの課題解決を実現する商品・サービスの提供による付加価値のアップや、競争力の高い商品の発売等により、当社グループの稼ぐ力が向上し続けていることの証です。

年間配当は、計画どおり1株あたり84円、期末配当は42円としました。2019年10月に発表した自己株式の取得については、2020年4月に上限200億円分の取得を完了しました。

新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、オムロンでは、社員の感染防止への対応と同時に事業継続の維持に努めています。しかし、新型コロナウイルス感染症の終息は不透明なことから、現時点で2020年度の計画の公表は控え未定としました。なお、当社にはこのような状況下でも事業運営に必要な手元現預金は十分にあり、かつ、成長投資を実行できる強固な財務基盤があります。事業継続を確かなものにするのはもちろんのこと、将来の成長に必要な投資は実行していきます。

今回のコロナショックは、人々の価値観や産業構造を変化させ、社会変革を加速させると見えています。その変革のなかで、すでにオムロンが解決すべき新たな社会的課題が生まれています。代表的な事例が遠隔医療です。オムロンでは脳卒中や心筋梗塞等の発作を防ぐ、遠隔医療サービスの事業化を進めており、医療従事者や患者同士の接触を減らす上でもさらにこのニーズは加速すると考え、取り組みを強化します。

オムロンはこれからも世の中のニーズをいち早くつかみ、社会的課題を解決することでさらなる成長を実現していきます。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月  
代表取締役社長 CEO

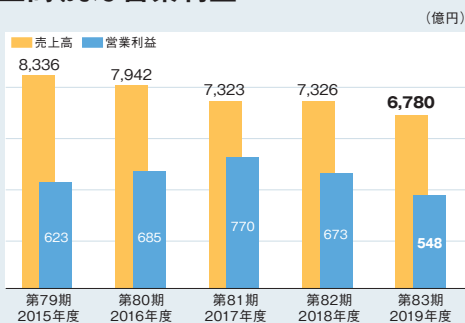
山田義仁

# 第83期(2019年度) 決算ハイライト(連結)

	実績	前期比
売上高	<b>6,780</b> 億円	△ <b>7.5</b> %
営業利益	<b>548</b> 億円	△ <b>18.6</b> %
売上高営業利益率	<b>8.1</b> %	△ <b>1.1</b> P
継続事業 税引前当期純利益	<b>518</b> 億円	△ <b>21.4</b> %
当社株主に帰属する 当期純利益*	<b>749</b> 億円	+ <b>37.9</b> %
基本的1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益*	<b>365.26</b> 円	+ <b>104.48</b> 円

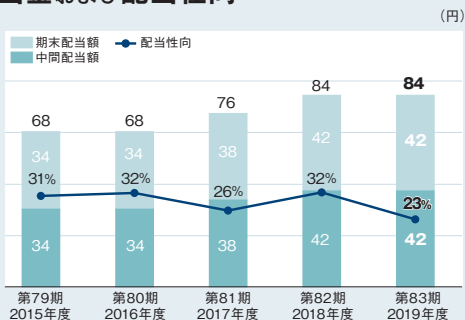
(注)\*の数値は、車載事業の株式譲渡に伴う売却益を含んでいます。

## 売上高および営業利益



(注)第81期から第83期の数値は、株式譲渡した車載事業を除いています。

## 配当金および配当性向



## 部門別情報

### 制御機器事業



業界随一の幅広い制御機器とユニークな制御技術でモノづくり現場を革新し、世界の製造業の生産性向上に貢献しています。

売上高  
構成比

52%

### 電子部品事業



汎用アプリ(民生)機器、車載機器、環境/エネルギー機器、産業機器に内蔵する制御コンポーネントやモバイル機器に内蔵するコンポーネントなど幅広い分野で、グローバルに電子部品を提供しています。

売上高  
構成比

13%

### 社会システム事業



安心・安全・快適に生活し続ける豊かな社会の創造に向け、センシング&コントロール技術およびソフトウェア、メンテナンスのトータルサービスでソリューションを構築し、お客様とともにより良い社会づくりに貢献しています。

売上高  
構成比

12%

### ヘルスケア事業



家庭で測る身近なものから医療機器まで、生活習慣病の予防・改善、疾病管理に役立つ数多くの商品やサービスをグローバルに提供し、人々の健康とすこやかな生活への貢献をしています。

売上高  
構成比

17%

### 本社直轄事業(その他事業)、他

環境事業・バックライト事業、他



事業の育成・強化や新規事業の探索・育成を目的とした事業を、本社直轄で担当しています。

売上高  
構成比

6%

#### 立石義雄名誉顧問逝去のお知らせ

当社名誉顧問で元代表取締役社長の立石義雄氏が、2020年4月21日(火)0時27分に逝去いたしました。ここに生前のご厚誼に深謝申しあげ、謹んでお知らせいたします。



# 特集：新たな社会的課題の解決に向けて ～血圧・心電データを用いた遠隔医療の実現に向けた取り組み～

全世界で拡大した新型コロナウイルス感染症は、人々の価値観や産業構造を変化させ、様々な社会変革を加速させています。その変革の中で新たな社会的課題が生まれ、例えば、医療現場における医療従事者や患者同士の接触を減らすための遠隔医療の早期実現が急務となっています。脳・心血管疾患の発症ゼロを目指すオムロンのヘルスケア事業では、2017年より提携関係にあるアライブコア社(米国)との協業により、遠隔診療による血圧計と心電計を用いた脳・心血管疾患予防に向けた取り組みをはじめています。アライブコア社は、米国で携帯型心電計と医師による患者の遠隔診療システムを通じて、心房細動\*の診断や治療の支援サービスを行う先進企業です。

脳卒中や心筋梗塞などの重大疾患の発症リスクを低減するには、日常生活の中での血圧測定と、それに基づく医師の適切な診断と治療が重要です。また、高血圧と同様に心房細動も脳卒中を引き起こす可能性が高まります。現在、日常生活の中での心電の計測はまだ一般的ではなく、また、病院で計測をしても、検査時に症状が出ていなければ心房細動を発見することは困難です。今後さらに脳・心血管疾患の発症を抑制するには、病院だけでなく、日常生活の中で多くの生体情報を集め、個人の健康状態をより詳しく把握することが重要です。

2019年に米国で発売した心電計付血圧計は、毎日の血圧測定時に

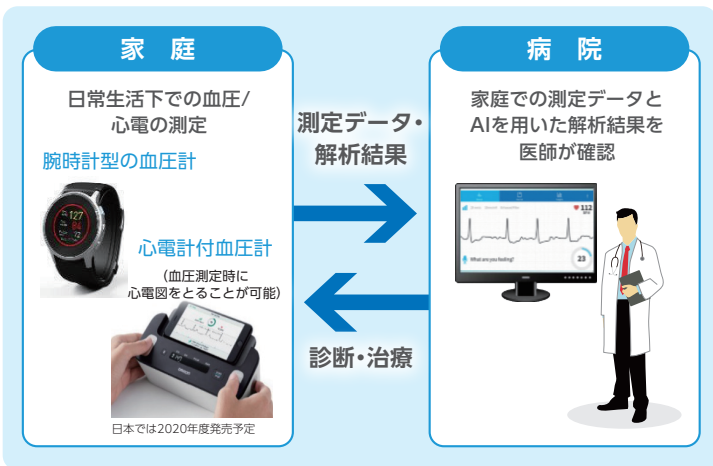


簡単に心電図をとることができ、心房細動の早期発見に役立ちます。将来は、血圧と心電データをAI(人工知能)で解析することで、今まで把握できなかった重大疾患になるリスクを把握することができるようになります。

この技術を遠隔医療に用いることで、医師は患者が病院に来た時だけでなく、家庭で測定したデータを頻繁に確認し、詳細に患者の状態を把握できます。これにより、重篤な疾患の兆候を早期に発見できるようになります。患者は安心感が高まるだけでなく通院の負担も軽減します。また、人やモノとの接触が減ることにより、移動中や病院内での感染リスクの低下も期待できます。さらに、遠隔医療が普及すれば、「予備軍」といわれる方も元気なうちから診断サービスを受けることで、疾患の早期発見や将来の発症予防も可能になり、健康寿命の延伸につながります。

オムロンのヘルスケア事業は、「地球上の一人ひとりの健康ですこやかな生活への貢献」をミッションとして、人々の健康維持や疾病予防のために、さまざまな商品・サービスをつくり続けています。

\*心房細動とは、心臓の中の心房という部位で異常な電気信号が発生し、心房の動きを乱して血液をうまく全身に送り出せなくなる状態のことです。心房の中で血液の固まり(血栓)ができ、血栓が血流に乗って全身に運ばれ血管を詰まらせてしまうことがあります。



# 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主 確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 および特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (郵送先) (電話照会先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 <b>0120-232-711</b> オペレーター対応 (9:00～17:00 土・日・祝日を除く)
上場証券取引所	東証第一部
証券コード	6645

## 株式に関するお問い合わせ

- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・買増請求

口座を開設されている証券会社へ  
お問い合わせください。

- 特別口座に関するご照会
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なご照会

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部まで  
お問い合わせください。  
電話照会先は上記をご参照ください。

100株以上保有の株主の皆さまへ

## 2020年度株主優待申込期限のお知らせ

申込期限:2020年6月30日(火)消印有効

まだお申込みをされていない株主さまは、お早めに  
申込書をご投函ください。

株主優待に関するお問い合わせ先:

**0120-868-343** (9:00～17:00 土・日・祝日等を除く)

三菱UFJ信託銀行 株主さま優待サポートセンター(オムロン専用窓口)